

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	18 京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	和歌山県												
計画の目標	関西大環状道路の一部を形成する京奈和自動車道の整備に合わせ、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	6,700	A	6,700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	ICアクセスに係る時間の短縮を図り、ネットワークの機能を向上させる			
	ICアクセス時間短縮率	0%	24%	25%
	ICアクセス時間短縮率			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
(国)371号・石仏バイパス(18-A-1)、(国)371号(仮称新紀見トンネル)(18-A-2)、(国)480号・父鬼バイパス(18-A-4)については交付対象が大阪府であるため、大阪府にて整備計画を提出。 交付金の執行状況については、和歌山県・大阪府合計の数値を計上。								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	国道	改築	(国)371号(仮称新紀見トンネル)(18-A-3)	トンネル L=1.0km	橋本市						2,800	-	
	A01-002	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府県道	改築	(一)那賀かつらぎ線(18-A-5)	現道拡幅 L=2.1km	かつらぎ町						3,900	-	
												小計					6,700		
												合計						6,700	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 和歌山県県土整備部にて評価	事後評価の実施時期 令和元年12月
	公表の方法 和歌山県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(一) 那賀かつらぎ線の道路改良を行った結果、京奈和自動車道ICへのアクセス性が向上し、都市・地域の立地競争力の強化に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本計画を連携して実施した大阪府による（国）371号石仏バイパス及び（国）480号父鬼バイパスの道路改良を行った結果、府県間のアクセスが向上し、地域の立地競争力の強化を図ることができた。
特記事項（今後の方針等）	
事業継続中の箇所については、大阪府和歌山県にて連携し、早期供用できるよう引き続き事業進捗を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	ICアクセス時間短縮率	
	最終目標値	25%
	最終実績値	24%
		(一) 那賀かつらぎ線のH27年度の部分供用等により、京奈和自動車道のかつらぎ西ICアクセス時間を短縮することができたが、関係機関との協議に時間を要したことから、計画期間内での全線供用に至らなかったことから、目標値の25%を達成できなかった。